

3学期の修了式の後、学級へ戻った子どもたちは、担任に通知表をもらい、最後の学級だよりをもらい、学年の扉を閉めた。その後もう一度体育館に入り、離任式を行う▼離任式を修了式の日に行うようになってから、15年程だろうか。かつては、教職員の異動はまず4/1の新聞で知った、離任式は、新学期に入って入学式の次の日に行うのが慣例だった▼私事であるが、最初の2回の異動は、直接担任した子がいなかった。そして、今回6回目、校長としては2回目の離任式を経験することとなった。今回本校を去る教職員は6名、紹介は私の仕事▼これまで学校生活を共に過ごしてきた先生方とのお別れはとても寂しい。体育館は独特の雰囲気にも包まれる。学校を去る先生方の言葉に涙ぐむ子も。服の中に顔を入れて泣き顔を見られまいとする子、天井を見上げる子、それぞれにこの事実を受け入れる▼最後は、全校合唱。子どもたちの顔を見ると泣けてくる。私の前に座っていたのは2年生。流れ落ちる涙を拭うことなく、一生懸命歌を歌ってくれた2人の女の子。見渡すとそんな子がたくさんいる。とても顔を見ることができない▼最後は5年生の威風堂々の合奏に合わせて体育館を後にした。演奏をしながら数人の5年生が手を振ってくれた。笑顔で見送ってくれる子もいる。それから4日、本校での勤務をきっちり閉めるために、ここにいる自分が悲しい。